

栗東市自殺対策計画策定委員会 議事録

(平成 30 年 11 月 9 日作成)

1	会議の名称	第2回栗東市自殺対策計画策定委員会			
2	会議の開催日時	平成 30 年 11 月 8 日(木) 午後 1 時～2 時			
3	会議の開催場所	栗東市役所 第 1 会議室	公開の可否	(可)・一部不可・不可	
4	事務局(担当課)	福祉部 障がい福祉課	傍聴者数	0 名	
5	非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)				
6	出席委員	平田委員長、千原副委員長、佐藤委員、鷺見委員、松田委員、奥村委員、小西委員、山田委員(代理)、田中委員(代理)、片岡委員、宇野委員、太田委員、宮田委員(代理) (以上 13 名)			
7	会議の議事	(1) 計画素案について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他			
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 会議次第 ● 委員名簿 ● 素案正誤表 ● 資料 1 栗東市自殺対策計画 素案 ● 資料 2 栗東市 生きることの包括的支援実績表 			
9	審議等の内容	別紙のとおり			

第2回栗東市自殺対策計画策定委員会 議事録

(平成30年11月8日(木)開催)

開会

事務局

それでは定刻になりましたので、第2回栗東市自殺対策計画策定委員会を開催します。

審議に移る前に、配布資料と追加資料の確認をしたいと思います。

(事務局より、資料の確認を行った。)

この策定委員会は原則公開となっていますが、本日の傍聴者はいません。

委員長に進行をお願いします。

委員長

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、第2回栗東市自殺対策計画策定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日も栗東市自殺対策計画の策定に向け、引き続きご意見をいただきたいと思います。

本日議論をいただく計画素案については、8月に開催した策定委員会でいただいた意見が反映されていることと思います。どのように反映されたか確認し、審議を進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

【議事1】計画素案について

委員長

それでは議事を進めます。

1つ目の議題として計画の素案について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(事務局より、資料1に基づいて、栗東市自殺対策計画素案について説明を行った。)

委員長

ありがとうございました。ただいま説明のありました計画の素案について、ご質問やご意見はいかがでしょうか。

委員

28ページの子ども・若者に関する施策について挙げている現状・課題に対し、既存の施策で対応し、新規の施策や取り組みは展開しないという認識でよろしいでしょうか。

また、府内で連携して取り組む必要があると職員からの声もありますが、特に連携をせずに取り組むということでしょうか。

訂正資料の湖南いのちサポート相談事業について、一人の相談者がいくつも問題を抱えており、1つの機関だけで対応していくことは難しいため、「草津保健所が相談支援を行う」という書き方ではなく、「草津保健所、市等が相談支援を行う」とネットワークで取り組んでいくという書き方

が良いと思います。

委員長

ご意見を踏まえて、新たな取組や連携を密にするという表現を加える等、具体的な取り組みの記載をお願いします。

委員

この計画を策定したのが障がい福祉課なので、自殺対策は障がい福祉課に任せることになります。どこかで各課が関わっていくなら、ネットワークをつくる必要があると思います。

委員

この素案について、全体的に良い計画になっていると思いますが、医療の立場から見ると、自殺対策に関わる医療機関との連携への踏み込みが十分でないと思います。

精神科やかかりつけ医等、自殺対策に関わる医者との接点をどうやってつくっていくかが課題です。実際に湖南圏域では精神科医等とのネットワークづくりを進めており、栗東市の障がい福祉課を窓口として取り上げています。

自殺対策を進めるにあたり、医療との連携を充実する必要があると思います。

委員長

診療を受けるといった記載がありますが、診療を受けた後の連携も必要だと思います。

既にあるネットワークと連携するのか、あるいは新しくつながりをつくるのかといった記載も必要ではないでしょうか。

委員

自殺死亡率の目標値の記載がありますが、自殺者数で表すと何人になるのでしょうか。

事務局

人口により変わりますが、9人以下になる見込みです。

委員

基本理念について、第五次栗東市総合計画後期基本計画とありますが、これはどういう計画なのでしょうか。

事務局

まちづくりの上位計画であり、栗東市がどういうまちづくりを実施するのか記載した総合的な計画です。

委員

総合計画を踏まえ、安全・安心のまちを目指すとなっていますが、安全という言葉は自殺対策においてふさわしいか疑問です。安全だと防災を含めた広い概念になります。

委員

これから第六次計画を策定する予定ですので、第五次計画の理念を踏襲する必要はないかと思います。むしろ、第六次計画の理念との整合性を検討する必要があります。

委員長

第五次計画の理念を踏襲する必要がないということであれば、安全という言葉は削除してはどうか。

事務局

それでは、安全という記載を削除し、国の自殺総合対策大綱で掲げられている「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を踏まえつつ、基本理念は、「誰も自殺に追い込まれることのない安心のまち」とします。

委員長

計画素案は国の統計だけでなく、県の事業の数値を盛り込んで分析しています。その結果、「栗東市では40~59歳の自殺が最も多い」という国が提示している現状だけでなく、「栗東市の自殺未遂者は10代が最も多い」という現状も見えてきました。

栗東市の現状と課題に対し、施策のどの事業が対応しているのかということをきちんと説明できるようになっていることが大切です。

他にございませんか。無いようですので、次の議事に移りたいと思います。

【議事2】今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、今後の計画策定に係るスケジュールについて説明を行った。)

委員長

ただいま説明がありました、今後のスケジュールについてご意見やご質問はいかがでしょうか。

委員

計画の修正については、委員長一任ということでしょうか。

事務局

委員長一任でお願いできればと思います。

また、栗東市自殺対策計画策定委員会は、計画を市長に提出することで役割を終えますが、素案にもありますように、新しく協議会を設置する予定です。協議会の委員の就任を、策定委員会の委員にお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

副委員長

21ページの市民と行政の協働の推進において、NPO団体との連携とあります。滋賀いのちの電話の本部が栗東市にあり、栗東市と連携して自殺対策を進めていますので、記載をお願いできればと思います。

また、こういう困ったときにどこに相談すれば良いのかというパンフレットがありましたら、可視化していただけるとありがたいです。

病気になったけどお金がないから診療できないという方もいらっしゃると思います。

事務局

概要版での連絡先の記載も検討していきたいと思います。

委員長

審議の案件をすべて終えましたので、第2回栗東市自殺対策計画策定委員会を終わりたいと思います。

<閉会>